

日本臨床細胞学会奈良県支部第2回理事会 議事録

日時：平成24年10月25日（木） 午後4時

場所：奈良県医師会館

出席者：小西、安達、井上、浦、太田、笠井、河野、鴻池、木枕、島田啓、豊田、古川、山口

欠席者：今井、榎木、榎本、小畑、川口、金山、小林、島田全、武田、高野、中村修、濱田、松山、山川、中村幸、井谷、清塚

1. 平成24年学術集会（第27回）について：世話人の豊田理事より概略説明あり

12月1日（土）開催予定の教育講演、特別講演については、配布資料のとおり。

今回、新しい試みとして3社の企業展示ブースを設け、午後1時30分より特設会場にてパンフレットならびに各社持参のスライドを検鏡できるように顕微鏡の設置を手配する。各社の特徴について5分ほど一般講演の後に説明する予定である。時間確保のため、一般講演は昨年よりやや早めに終了できるよう工夫する。

また、総会前からの展示（午後1時30分）について会員に周知する必要があること、企業展示に関連した寄付金は、1社あたり3万円とすることも了承された。

一般講演に関して、現時点では応募数0であるが、奈良医大、近畿大学奈良病院、天理よろづ病院、医師会検査センター、県立奈良病院等に応募を依頼した。なお、演題名、演者（共同演者を含む）については10月末日までに、また抄録については、11月15日を目途に医師会までメールにて送信することに決められた。

2. 平成24年度奈良県支部ワークショップ（第7回）について

平成25年1月26日（土）、奈良医大講義室ならびに組織実習室にて開催される。

今回より、特別講演と実習担当が同一施設であることに固執せず、テーマに即した適切な演者を選択し、実習については、奈良医大、近畿大学奈良病院、天理よろづ病院、医師会検査センター、県立奈良病院等の県内の病理施設が持ち回りで担当する。

準備期間は1年近くあり、当該施設のみで準備できないものについては、他施設が標本の提供など相互に協力する。

第7回ワークショップはテーマを呼吸器細胞診とし、演者は奈良医大・病理診断学 大林千穂教授に、実習担当を天理よろづ病院鴻池さんとすることが了承された。

平成25年学術集会は、同年12月7日開催予定とし、世話人は今井理事にお願いする予定である。今後世話人は各理事で、特に若手の方に担任いただくのが望ましいが、理事の半数が産婦人科医であり、2年に1回は産婦人科医に世話人をお願いすることになる。

3. 役員について

退会了承

大和高田市立病院 島田全康理事、奈良医大 濱田薫理事

新規入会了承

奈良医大病理診断学 大林千穂先生

4. その他

奈良県支部の法人化について

時期尚早であり、今後の動向、推移を注意深く見守っていく。

理由として、

1.いまだ近畿連合会各支部をはじめ法人化の具体的な動きがなく、リスクマネジメントができない、2.法人化により医師会から離れることになり、補助金・学術集会等施設の確保・事務手続きなどをどうするか、3.法人化の手続きやその後の活動にはしかるべきスタッフをそろえることが不可欠である、など克服すべき課題が多い、等の点が支部長より指摘された。

平成 24 年 10 月 29 日

文責 小西 登